

昨年度評価(R4年度)								
【主たる中施策事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R4年度決算①	5_R5年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	7_所属
32	商工業の育成振興事業		A	143,685	81,049	-62,636	コロナ禍による商工業者の経営への影響を緩和低減させるべく国県諸制度の活用を誘導しつつ市による保証料支援施策を実施し需要に応じることができた。また事業者支援と地域の消費喚起、生活支援とを両立拡大するべく割引券事業を実施し利用率の拡大も図ることができた。引き続き経営環境の観察と適切な支援等施策に備えていく。また、まちのブランド構築をけん引する花マルシェプロジェクトはコロナ禍においても市内外への活動認知を進められていることから協働的推進体制を維持し内容を拡充していく。	産業支援課
32	企業誘致事業		B	110	138	28	事業主体である県企業庁柿ノ木工業団地について市としてエントリー誘導活動を踏まえての募集、選考審査を実施し応募企業のなかから環境配慮計画や地域貢献意向のある企業を選定することができた。希望区画の競合もあり結果として残存区画が生じたため引き続き優良企業の進出意向を喚起する活動を行っていく。	産業支援課
32	農業振興事業	・新規野菜産地ブランド化事業	C	10,706	12,608	1,902	本市の中長期の都市近郊農業の在り方、担い手の課題を優良農地を保全しながら展望していく必要がある。地域組織の在り方についてもJAと協議しながら新しい姿を見出していく。JAが開設する産直施設と関連機能の開発に連携を図ることで生産者と市民が近い本市農業振興の在り方を見出していく。新規野菜カリフラワー等は供給の安定化、話題性のある店舗への出荷などニュース性を意識したブランド野菜としての取組を図る。	農業政策課
32	農業委員会事業		A	12,056	12,809	753	農業委員会委員、農地利用最適化推進委員の協力のもと、現地調査を積極的に実施し遊休農地の解消や農地集積等の活動を推進することができた。新たに改選となる同委員も継続した活動をとおして優良農地の保全を図る。	農業政策課
7	市道等維持管理事務	・道路(橋梁)等長寿命化事業 ・皆瀬川護岸改修事業負担金 ・前後駅前広場デッキ整備事業	A	258,500	300,932	42,432	道路改良工事を実施し市民生活の利便性と安全性の向上を図ることができた。計画に基づき橋梁点検を実施し、修繕を実施、良好な交通環境の維持に努めた。前後駅前広場デッキの再生修繕整備を実施し市の玄関口としての快適性と利便性を確保する。照明施設LED化をリース方式で実施し経済合理性を確保した維持管理を行う。愛着の醸成など命名権事業についても再編を進めることができたことから効果的な活動を検討しながら継続実施していく。	土木課
7	交通安全施設管理・整備事業	・交通安全施設整備事業	A	37,151	30,914	-6,237	地域の要望に基づき通学路を優先に対策を講じ、児童生徒等の交通安全確保を推進した。通学路交通安全プログラムは継続的に実施していく。	土木課
29	公園施設整備事業	・三崎水辺公園改修事業 ・公園施設改修事業 ・人道橋撤去事業	A	33,060	24,052	-9,008	継続的に順次実施している地域の意向等を踏まえながら行うリノベーション工事を荒井公園で実施し、老朽化対策を行いつつ憩いの空間の再生を行うことができた。三崎水辺公園の基本設計を実施においては利用者インタビューやクラウドファンディングなど多様な情報の発信を意識しながら進めることができた。	都市計画課
10	土地区画整理事業	・新市街地整備事業(寺池地区) ・新市街地整備事業(間米南部地区)	A	54,467	300,000	245,533	寺池地区は保留地の売却先が内定するなど資金計画も円滑に進行させることができ、造成工事も順調に進められ、県道57号に接しまちづくりへの関心も高まっている。間米南部は組合設立となり計画に沿って順調に進展している。都市構造再編集集中支援事業として本格時機に入ることから積極的に事業を推進していく。	市街地整備課
90	公共下水道維持管理	・流域下水道事業(建設事業負担金) ・下水道ストックマネジメント事業 ・未普及対策事業	A	1,194,519	1,267,245	72,726	計画に基づき農集排施設の統合を終え、一部事業として継続に残った舗装復旧工事を実施した。それぞれの地域の長期にわたる排水処理環境の向上を図ることができた。下水道ストックマネジメント事業については、計画に基づき下水道施設の調査業務を進めた。引き続き調査、点検、修繕を実施し施設の長寿命化を図っていく。	下水道課
6	ごみ減量啓発事業	・環境フェスタ運営事業	B	4,405	4,162	-243	市民と進める排出抑制の取り組みについて目標からの進行管理を公表しながら啓発を進めることができた。東部知多管内での排出抑制の取り組みについては共通する方向性のもと各団体ごとの特性に沿った取り組みを実行しており本市も高い市民の意識と協調しつつ独自の分別や排出抑制を柔軟に検討、導入していく。市民の行動変容を意識した啓発に努めることができた。	環境課
10	公園緑地管理事業	・公園包括管理事業	A	131,719	126,447	-5,272	利用者の利便向上、行政資源の活用可能性などを目指す指定管理者制度を導入し新しい挑戦を様々な実施することができた。雑草対策については後手に回ることが多く市民に心配をさせてしまう事案も生じたことから抜本的に体制を整えるべく指定管理者と改善を検討した。今後は快適性の維持継続とサービスを多様に向上させていく目的意識を市と指定管理者が共有し実行していく。	都市計画課
	墓地管理事業	・勅使墓園包括管理事業 ・墓地に関する意識調査事業	A	24,373	23,600	-773		環境課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。No.90はめざすまちの姿関連外事業です。

「3_総合評価」から「6_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。